



大人への第一歩 晴れの門出
▼平成22年成人式

1/10



はいつ！かるた取りの熱戦
▼百人一首かるた大会

1/4

小倉百人一首を子どもたちに楽しんでもらおうと、新春恒例となった百人一首かるた教室が市コミセンで行われました。今年は小中学生25人が参加。この日は、学年ごとに2人ずつに分かれて、読み上げられる上の句に合わせて、畳の上に並べられた札をすばやく見つけて取り合う熱戦が繰り広げられ、会場は熱気に包まれていました。

新成人985人の門出を祝う平成22年成人式が市民会館で開催されました。スーツ姿や晴れ着姿の新成人が会場を埋めつくし、久々の再会を喜ぶ新成人たちの笑顔であふれていました。式典では、市長の言葉や来賓のあいさつなどに耳を傾け、新成人の代表者が、大人としての自覚と決意の誓いを行いました。（詳しくは6ページに掲載）

また、天正夢広場では、西大村・三城小学校出身の新成人が卒業記念に埋めた「タイムカプセル」を8年ぶりに開封し、当時の大切にしていた品や保護者からの手紙などを手にして、同窓生たちと思いの出を振り返っていました。



大村駅を年末ボランティア清掃
▼大村工業高校ラグビー部の皆さん

12/26

大村工業高校のラグビー部の皆さんが、大村駅構内の掃除をボランティアで行いました。これは毎年行っているもので、1・2年生23人の部員が、線路や構内のごみ拾いやベンチや手すり、階段、待合室などの拭き掃除を行い、新しい年を前に大村駅はすっきりきれいになりました。



家族の声援を受けて湖畔を疾走
▼第18回池田湖畔マラソン大会

12/12

学校と地域が連携し、今年も池田湖畔マラソン大会が行われました。西大村小学校区青少年健全育成協議会の主催で池田湖畔を周回するコースで行われ、保育園児、小学生各学年の男女、中学生男女、高校生、一般男女にそれぞれ分かれて、約700人の選手たちは家族の声援を受けながら寒風の湖畔を駆け抜けました。



▼第20回萱瀬新春子どもロードレース大会
寒さに負けず元気に疾走

萱瀬地区健全育成協議会が行う学年別のロードレース大会が萱瀬中学校周辺のコースで行われました。今年も地元の小中学生のほか、佐賀県鹿島市の児童・生徒も参加し健脚を競いました。本格的な冬の寒さにも負けず、総勢203人が元気に自然いっぱいのコースを疾走しました。

1/10



▼平成22年出初式
一年間の無火災を願って

消防署や消防団など消防活動に携わる関係団体900人が参加し、年始め恒例の出初式が市民会館で行われました。式典で消防活動などの各種表彰を行ったあと、はつぴ姿の幼年消防クラブの子どもたちを先頭に分列行進が行われました。

1/8



OMURA CITY
INFORMATION

12/11

大村市商業集積ガイド
ライン策定検討委員会
報告書を提出

市内外の有識者や関係団体代表、公募市民からなる「大村市商業集積ガイドライン策定検討委員会」の鮫島和夫委員長が、市長に報告書をまとめ提出しました。これは市が昨年、地域の特性に即した商業集積に関する指針の策定について、広く意見を求めるため平成21年1月に設置したもので、今後さらに検討が進められます。



12/12

ミニボートピア
長洲がオープン

大村競艇の場外発売場「ミニボートピア長洲」が、熊本県長洲町にオープンしました。

この日は松本崇市長、廣瀬政和市議会議長をはじめ、長洲町側から中逸博光町長、松井也町議会議長などがテープカットをして開場を祝いました。

「ミニボートピア長洲」では、大村競艇のレースを中心に、全国発売を行っているSGやGI競走も発売し、年間350日の開催で、1日の入場者数は770人、売り上げ目標は、1日1千万円、年間35億円を見込んでいます。本ミニボートピアの開設は8か所目となります。



1/4

市史編さん室を開設

市では、大村市の新しい市史の編さんに取り組み「市史編さん室」を開設しました。

これまでの市史は昭和37年に編さんされ、大村で生きた人々や町の歴史を記録にとどめ、市民の皆さんにその歴史をお知らせしましたが、新しい市史では、大村の自然や原始から現代までの歴史など、全時代を網羅し、私たちのふるさとがどのようにして今日に至ったのかを解説します。

